



## CHASE YOUR DREAM

### 10月のレース結果

マイナビツール・ド・九州 2023 10月6日(金)～10月9日(月・祝)

- 小倉クリテリウム 10月6日  
児島直樹 優勝/窪木一茂 2位/松田翔位 12位/山本哲央 47位/橋本英也 65位/河野翔輝 81位
- 第1ステージ福岡 10月7日  
児島直樹 優勝/山本哲央 51位/山下虎ノ亮 95位/河野翔輝 97位/窪木一茂 98位/松田祥位 99位
- 第2ステージ熊本阿蘇 10月8日  
窪木一茂 28位/児島直樹 33位/山本哲央 50位/河野翔輝 60位/山下虎ノ亮 73位/松田祥位 DNF
- 第3ステージ大分 10月9日  
児島直樹 9位/窪木一茂 40位/山本哲央 68位/山下虎ノ亮 DNF/河野翔輝 DNF
- 総合ポイント賞：児島直樹

おおいとこの道クリテリウム 9月30日(土)

河野翔輝 3位/山本哲央 13位/岡本勝哉 41位/山下虎ノ亮 DNF

おおいとアーバンクラシック 10月1日(日)

山本哲央 DNF/河野翔輝 DNF/山下虎ノ亮 DNF/岡本勝哉 DNF

J PRO ツアー 第3回かすみがうらタイムトライアル 10月21日(土)

松田祥位 2位/山本哲央 4位/児島直樹 8位/岡本勝哉 14位/山下虎ノ亮 18位

J PRO ツアー 第3回かすみがうらロードレース 10月22日(日)

山本哲央 優勝/松田祥位 3位/児島直樹 4位/岡本勝哉 7位/山下虎ノ亮 31位

### 2023 UCIトラックチャンピオンズリーグ

- 第1ラウンド マヨルカ/スペイン 10月21日(土)  
参加選手：橋本英也 スクラッチ 優勝/エリミネーション 5位/総合首位に
- 第2ラウンド ヘルリン/ドイツ 10月28日(土)  
参加選手：橋本英也 スクラッチ 5位/エリミネーション 2位/総合首位に

### 11月のレース予定

山口ながとクリテリウム 11月4日(土)

美祿・秋吉台カナル国際ロードレース 11月5日(日)

<https://akiyoshidai-karst.com/>

参加選手：河野翔輝、山本哲央、岡本勝哉、山下虎ノ亮

ジャバントラックカップI/II 11月16日(木)～18日(土)

参加選手：未定

JICF 国際トラックカップ 11月25(土)～26(日)

<https://jicf.info/jicf-international-track-cup/>

参加選手：未定

### 2023 UCIトラックチャンピオンズリーグ

<https://www.ucitrackchampionsleague.com/>

第3ラウンド：11月4日(土) /サン・カンタン・アン・イブリン/フランス

第4ラウンド：11月10日(土) /ロンドン/イギリス

第5ラウンド：11月11日(日) /ロンドン/イギリス 参加選手：橋本英也

チームブログでは、レース翌日のお昼にレースレポートを公開しています。こちらまでぜひお読みください!

<https://www.bscycle.co.jp/anchor/blog/Team-Blog/>

※出場選手は変更になることがあります。



『マイナビツール・ド・九州2023』は、福岡県、熊本県、大分県の九州3県を舞台とする3日間のUCI(国際自転車競技連合)公認の国際ロードレースです。この3日間のステージレースの前哨戦として、北九州市の小倉城周辺にて、第0ステージ・小倉城クリテリウムが行われました。小倉城の周囲を巡るこのクリテリウ

小倉城クリテリウムで  
児島、窪木のワンツー勝利

## 実りある遠征となったツール・ド・九州 児島が2連勝、ポイント賞も獲得しました!



ブリヂストンロゴの入る  
ポイント賞を児島が獲得

幸先の良いスタートとなったツール・ド・九州。第1ステージのコースは、児島の出身地であるみやま市を通ります。児島が地元での活躍を見せられる最高の舞台です。そしてこのレースのポイント賞のパートナーはブリヂストン。チームもこの特別な意味を持つポイント賞の獲得に気合が入ります。山岳の続く第1ステージ福岡。チームは児島を守りながら、最初のスプリントポイントで1位通過させます。その後の2度の山岳セクションでは集団

ム。序盤からチームは集団の先頭付近でレース展開をコントロール。特に橋本英也が先頭で備え、逃げを作らせません。残り3周、いよいよチームは5名の選手で先頭を固めます。先頭を引き続ける橋本。その後ろに続く4名のチームブリヂストン選手。フィニッシュに向けて速度が上がり、最終300mでスプリントを仕掛けた児島直樹と窪木一茂が他選手を寄せ付けずにフィニッシュへ。ブリヂストン創業の地で、児島が優勝、窪木が2位というワンツー勝利を飾りました。「アジア大会から帰ってきて九州に入り、レース前には僕の母校である小学校に訪問させていただきました。母校でパワーもいただきました、このツール・九州に挑んでいます」(児島)

児島の母校訪問  
パワーをもらった



レースに先立つこと2日前、児島は母校であるみやま市立水上小学校を訪問しました。ここで児島は、母校の後輩小学生たちに大きく激励をもらいました。そして第1ステージ福岡、その勝負所の最後の登りは、その母校の近くを通過します。ここで受けた大きな声援が児島に大きな力を与え、ステージ優勝の後押しとなったのは先のコメント通りです。児島はレース後、再び水上小学校を訪問しました。生徒たちに祝福されるなか、2度の勝利とポイント

の人数は絞られていきましたが、児島は先頭で粘り続けます。「2つ目の峠のペースがとても厳しく、ちぎれてしまいましたが、その後には地元のみみやま市がコースでもありました。そこまでは絶対に先頭集団で行きたいという気持ちの強さで乗り切りました」(児島)最後まで先頭で粘り切った児島、フィニッシュ前50mからスプリントで勝利します。地元の声援の中、その気持ちの強さで2連勝を成し遂げました。第2ステージ熊本阿蘇は、阿蘇山の麓を巡るまたも山岳ルート。最初のスプリントポイントでチーム一丸となって児島を前に送り出し、これも児島が1位通過します。しかしその後には続く峠。そして雨が選手を苦しめ、児島を含むチームは中盤以降でフィニッシュ。それでも児島はポイント賞をキープします。

そして第3最終ステージ大分もチーム選手にとっては厳しいものとなりました。下り基調のコースでしたが、いくつもの登り返しに選手たちは消耗。先頭集団は小さくなりますが、児島はまたも先頭で粘ります。結果、先行した3選手のフィニッシュ後に児島は4位集団で勝負、9位となり取りましたが目標だったポイント賞を勝ち取りました。ブリヂストンロゴの入るポイント賞ジャージを獲得したい気持ち、そしてブリヂストンのみなさまにジャージ獲得の報告をしたいという思いがずっとありました。自分の限界を超えたところでその思いが込み上げてきて、最後まで耐えられました」(児島)。児島個人と、彼を全力でサポートしたチームの思いがこの念願を果たしました。

賞獲得の報告とお礼を述べます。地元皆様の応援に確かに応えられた児島、誇らしい母校報告となりました。

ブリヂストンの創業地  
久留米工場を訪問



レースの翌日にチームは、ブリヂストン久留米工場を訪問しました。従業員の方々に暖かく迎えてもらい、そして児島の2勝とポイント賞の獲得を祝っていただきました。チームからは、ツール・ド・九州のボランティアを引き受けてくれた従業員の方に深くお礼を述べました。工場内を巡ったチーム選手は、貴重な経験をさせてもらいました。ブリヂストン創業者、石橋二郎が使っていた当時の机を見せられたり、タイヤの構造を学んだり。自転車のタイヤには、航空機のタイヤにも使われる高価な材料が使われていると聞き、チーム員は盛り上がっていました。歓迎と祝勝、本当にありがとうございました。

アジア大会では  
4つの金メダル獲得

ツール・ド・九州に先立ち、チームブリヂストン選手が参戦したアジア競技大会(2022/中国・杭州※2023年9月26日、29日で延期開催)。ここでチームは4つの金メダルを獲得しました。男子チームバシユール、男子チームスプリント、男子オムニアム、そして男子マディソンです。中でも特筆すべきは男子マディソンでした。参戦した今村駿介は開始早々に転倒。その時に今村は鎖骨を骨折していたのが後に分かったのですが、それでも気持ちで残り190周(47.5km)を走り切った金メダルでした。今村は福岡県うきは市の出身。ツール・ド・九州の出場へ強い気持ちを持っていましたが、今回は金メダルの報告だけとなってしまいました。この悔しさを今村は必ず、来年のバリ2024オリンピックに向けた大きな原動力とすることでしょう。今後もチームブリヂストン選手たちの活躍にご期待ください。



SHIMANO

WAVE ONE



OSTRICH

GARMIN

チームブリヂストンサイクリングHP  
<https://www.bscycle.co.jp/anchor/team/>

